

川越ゆかりの美の巨匠たち6 日本画家・小泉智英

平成19年3月に、天皇在位時代の上皇、上皇后両陛下が、スウェーデン国王夫妻と川越を訪れ、市立美術館で作品を鑑賞されました。その時、ご覧になった作品の一つが小泉智英さんの日本画作品「竹林四季」です。本作は縦180cm×横360cmの屏風2枚から成る四曲一双の大作で、移ろう日本の四季を、竹林を通して優しく描き出しています。



竹林四季(平成2~3年制作)

小泉さんは福島県出身で、市内在住の日本画家です。多摩美術大学で日本画を加山又造や横山操に師事し、新制作協会日本画部に出品していましたが、大学院修了後は現在まで無所属で活動しています。これまでに数多くのグループ展に出品し、個展も開催していて、平成16年には当館で特別展「小泉智英展 静響の譜」を開催しました。描かれた風景や草花は、色彩豊かで情感が込められ、丁寧に繊細な描写と静けさが漂う空間は、見る人を画面に引き込みます。

当館では常設展第4期(12月19日(休)来年3月22日(日))の小特集「小泉智英」にて「竹林四季」をはじめとする諸作品を紹介いたします。ぜひご覧ください。

ミズナ



ミズナはアブラナ科の野菜で冬が旬とされていますが、一年を通じて栽培されています。上松原で農業を営んでいる山下智也さんが、ミズナ栽培を手掛けるようになったのは22年前。夏に栽培できる葉物野菜を探していたところ、ミズナのことを知り、栽培を始めました。

栽培は毎年工夫を凝らし、虫が付かないようシートをかぶせたり、背を高く育てるために1株ごとの間隔を調整したり、土作りのために堆肥や緑肥を畑にすき込んだりしています。

山下さんおすすめの食べ方は、大根サラダ、み

そ汁、炒め物。「生だけでなく火を通して美味しいですよ」と山下さん。「火を通す場合は、ミズナのシャキシャキ感が残るくらいにするとおいしく食べることができます」と教えてくれました。



山下さんの野菜は上松原の農産物直売所「福菜」で購入することができます。これから旬となるミズナをさまざまな食べ方で楽しんでみてはいかがでしょうか。

この時期に市内の直売所などで購入できる主な川越産野菜
ホウレンソウ、ネギ、コマツナ、ゴボウ、ハクサイ、ダイコン、ブロッコリー、ニンジン、サトイモ、キャベツ、長ナス

れます。

凍 道(て)の途中に色鮮やかなイルミネーションが目にとまりました。一番街を中心とした地区は、伝統的建造物群保存地区に指定されています。同地区は、(世)都市計画コンサルタント協会による「認定都市プランナー」がおすすめするまち10選」で1位に選ばれました。歴史ある建物の季節ならではの光が、温かみを感じさせてくれます。



ライトアップされた中野家住宅

編集後記

ぶんぶん

年

末(すえ)といえば、正月を迎える準備に忙しくなります。また、歳末大売出しや福引などが行われます。11月23日には、埼玉川越総合地方卸売市場で川越市場まつりが開催され、買い物を対象に青果模擬競りやマグロ解体ショーが行われました。12月28日(土)から30日(月)には、同市場で「大開放市」が開催されます。

広報川越1452

発行日/令和元年12月10日(毎月10日・25日発行)

発行/川越市 〒350-8601埼玉県川越市元町1丁目3-1 <http://www.city.kawagoe.saitama.jp/>
☎049-224-8811(代表) ☎049-225-2171

編集/広報室

私的利用の範囲を除き、記事や写真の無断転載を禁止します。

この印刷物は、グリーン購入法に適合する紙を使用し、印刷用の紙へ、リサイクルできます。



Fontworks UD Font

「声の広報川越(CD)」「点字広報川越」を作成しています。ご希望の方は、広報室までご相談ください。
☎224-5495 ☎225-2171